

Children's aid society(CAS)は 16 歳未満の子どもが危害にさらされることから子どもを守る義務を負っています。この役割は政府から与えられています。また裁判所は子どもが 18 歳になるまで CAS が関わることを命じることができます。

どんな場合に CAS が家庭を調査しますか？

両親は子どもを保護する法的義務があります。CAS は次のようなことが起っていると考えられる場合に家庭を調査することがあります。

- ・ 両親の間で暴力がある場合
- ・ 子どもに危害が及ぶ可能性のあることを両親が行っている場合
- ・ 夫、妻または他の家族のメンバーが子どもに危害がおよぶ可能性があることを行っており、両親がそれを止めない場合

以下は CAS が家庭を調査する可能性のある事例です。

- ・ 子どもに対して侮辱したり大声を出す
- ・ 子どもを殴ったり縛ったりする
- ・ 食事を与えないことで子どもを罰する
- ・ 子どもに対して性的な触わり方をする
- ・ 子どもの保護に適齢の人を付けずに、子どもだけで置いておく

CAS は子どもが安全でないことをどのように知りますか？

もし誰かが子どもが危害を加えられている、もしくは危害が加えられる可能性があると考えられる合理的な理由がある場合 CAS に通報しなければなりません。親戚、友人、近隣の人であってもこれらの状況を伝える義務があります。

子どもに関わる仕事をしている者も CAS または警察にこれらの状況を通報しなければならず、行わなかった場合には犯罪として罰せられることがあります。例えば教師、医師、看護師、託児施設で働く者、ファミリーカウンセラー、ソーシャルワーカーそして宗教的リーダーがこれに当たります。↗

弁護士は CAS に通報する必要はありません。

CAS のワーカーが連絡してきたらどうすればよいですか？

CAS のワーカーと話するときには、出来るだけ冷静を保ってください。多くのことを話す前に弁護士に相談してください。もし弁護士費用を支払うことができない場合、Legal Aid Ontario が代わりに支払うことができます。

多くの場合、CAS が家の中に入るにはあなたの許可が必要です。通常、状況が悪化する前に、なるべく早めに家の中に入れる方がよいでしょう。もし必要な場合は、CAS は子どもを保護するため強制的に家に入ることができます。その際、CAS は補助として警察を連れてくることも可能です。

もし、どういったことであっても、理解できないことや、英語でのやり取りで難しいことがあれば、CAS ワーカーに伝えてください。あなたの言語及び英語が堪能な通訳を頼んでください。CAS が通訳を探せない場合には、あなた自身でも通訳を探す努力をしてください。

CAS ワーカーは、両親と子どもとで別々に話をします。彼らはあなたやあなたの子どもが言ったことを全て記録する義務があります。これらの情報は後に裁判所であなたの案件に対して使用される可能性があります。

子どもに危害を加えるとみなされる行動は犯罪となります。もし CAS や警察があなたの行為を犯罪であると疑っていると感じられた場合は、それ以降の質問に答える前に、法的なアドバイスを受けたいと伝え、すぐに弁護士に連絡してください。

CAS は何をすることができますか？

CAS は様々なことをするよう、あなたにアドバイスすることができます。あなたに彼らの言ったことに同意させようとするかもしれません。

CAS のいかなる書類であっても、弁護士のアドバイスを受

けるまで署名しないようにしてください。もし CAS と合意する場合でも、自身の弁護士を付けることはとても重要です。

場合によっては、CAS は子どもをあなたから引き離すことが可能です。

CAS が私から子どもを引き離した場合、どうすればよいですか？

CAS に家族の中の他のメンバーやあなたのコミュニティの別の大人があなたの子どもの世話ができるかどうかを伝えてください。もし CAS が親類や友人が世話をすることを許可しない場合は、地域の団体や家族が子どもの世話をすることになり費用が政府から支払われます。通常、あなたは子どもの元を訪問することができます。

子どもを取り戻すためになるべく早く弁護士に相談しましょう。弁護士は、CAS が子どもをどこに連れていったかということに関係なく、たとえ親戚や友人が世話をすることになったとしても必要です。 ↗

裁判所に行く必要がありますか？

CAS が子どもを引き離す場合や、あなたが CAS のアドバイスに従うように裁判所命令を申請する場合、CAS は事案を家庭裁判所 (family court) に提出しなくてはなりません。CAS が子どもを引き離した場合は、その日から 5 日以内に最初の家庭裁判所の公判があります。

場合によっては、あなたが何度も裁判所に行かなくてはならないことがあります。裁判所で支援を受けるため、すぐに弁護士のサポートを得てください。弁護士は CAS の事案に経験がある人のほうが良いでしょう。

もし警察があなたを犯罪人として訴える場合、刑事法廷 (criminal court) で争う権利があります。ただし、たとえ同じ状況であっても家庭裁判所とは別の事案となります。すぐに刑事事件専門の弁護士 (criminal lawyer) のサポートを得てください。

※ここでは一般的な情報のみを提示しています。個別の状況については法的なアドバイスを受けてください。

支援の受け方

211 Ontario は、多様な言語で支援先や情報を紹介するホットラインです。24 時間、週 7 日、電話で以下の情報を提供しています。

- ・地域のリーガルクリニックへのコンタクト方法
- ・その他の法的支援が受けられる場所と情報
- ・移民関係を扱う団体や他の支援が受けられるコミュニティ団体へのコンタクト方法 ↗

また地域の図書館やコミュニティのリーガルクリニックに問い合わせしてみるのもよいでしょう。

211 Ontario への問い合わせ

- ☎ 電話 211
- ☎ TTY 1-888-340-1001
- Website 211Ontario.ca

本プロジェクトは、CLEO(Community Legal Education Ontario)と 10 団体に及ぶ CLEO6 言語アドバイザーグループにより作成され、Ontario Trillium Foundation 及び Legal Aid Ontario によって助成されています。本ページ (英語版) のダウンロードおよび他の法的な情報については www.cleo.on.ca をご覧ください。

【免責事項】 この「保護者のための子どもの保護に関する情報」は、CLEOが2014年3月に発行した「Children's aid: Information for parents」の日本語版です。翻訳の正確性に関しては、CLEOの許可を得ているJapanese Social Services (JSS) が全責任を担い、CLEOの関与するところではありません。This is a translation of "Children's aid: Information for parents", dated March 2014, produced in English by CLEO (Community Legal Education Ontario/ Éducation Juridique Communautaire Ontario). Japanese Social Services (JSS) is wholly responsible for the accuracy of this translation, produced with permission of CLEO.